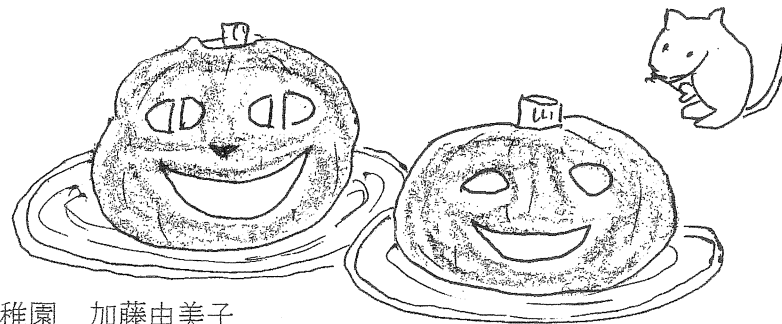


10月の園便り



27年 新潟青陵幼稚園 加藤由美子

我が子の子育て記録から・・・

いつもは歩いているけど、今日は用があって自転車に乗った
自転車の後ろに乗っていた娘が突然「ママ～、きこえる～？」
私「ん～ よくきこえないな～ 自転車だとね～」
娘「あ～ とりた～い！」 私「な～に～？」
娘「あ～あ わたげ あったのに・・・もう通り過ぎちゃった・・・」
私「うん、ごめん…」
娘「……………あ！！ ママ、おりたらノンといっしょにきてよ」
私「うん??」
そして家について自転車を降りると・・・娘は今来た道に戻り始めて
娘「これをとったかったの！」とカラスノエンドウの紫色の花を取っていた。
私「自転車はラクちんで気持ちいいけど…」娘「…でも、いいことやれない！」
自転車は早いから いいもの見つけても摘んだり拾ったりすることができない・・・、
娘はそれが分かっているのだけれど歩いていると、「自転車乗りたい」とか「抱っこ」と言
ったりする。そんな時「頑張ろう」とか「行くのやめる？」などと言っても何の効果もな
くグズグズのままだけど、私が正直に「なんだか楽しくなくなってきたな～、青い空、気
持ちいいのにな～」と言うと、娘は「もういわない…いわない」とさっさと歩き始めた。

子育ての頃、私は歩くことを大切にしたいと思っていました。でも、それは私の考えを
我が子に押し付けているだけなのかもしれない疑問を感じたこともありました・・・し
かし、子どもたちが大きくなったある時、「あと2,5キロもあるって!」「軽い軽い、歩け
る」「うん歩けるよ、行こう!」と歩き出し、そして、歩きながら懐かしい草を見つけて「こ
れ久しぶりだ」と言い、青く透き通った空の美しさに感激する姿を見た時、歩いていたの
もよかったのかもしれないと思えました。

自分の足で歩けば、どこへでも行ける、そして何より宝物がたくさん見つけられて、子
どものポケットの中はいつもいっぱい! ギュウギュウにポケットの中に石ころを詰め
込む時のあの小さな手の可愛さを今でも忘れられません。

便利さは“心がおいてけぼり”になってしまうけれど…不便さは“心と心が繋がって”人
と人とが支え合う関係ができる・・・子どもたちから気付かせてもらったことでした。

10月の予定

日	曜	給食	降園時間	行	事
1	木	○	2:00	28年度の入園受付が始まります。	
2	金	○	2:00		
3	土	×	11:30	自由登園日です。	
4	日	/	/		
5	月	○	2:00		
6	火	○	2:00		
7	水	○	2:00		
8	木	青○	2:00	白ばら, 赤ばら, ももさんはお弁当をご用意ください, どんぐり拾いです。 青ばらさんは給食があります。	
9	金	白赤 もも○	2:00	青ばらさんはお弁当をご用意ください, どんぐり拾いに出かけます。 白ばら・赤ばら・ももさんは給食があります。	
10	土	/	/	第2土曜日	
11	日	/	/		
12	月	/	/	体育の日	
13	火	○	2:00		
14	水	○	2:00		
15	木	○	2:00		
16	金	○	2:00		
17	土			のばら祭・バザー準備のため自由登園日はお休みです。	
18	日			のばら祭です、みなさまお揃いでお出で下さい。	
19	月	/	/	振替休日 星の子はお仕事の方のみとなります。	
20	火	○	2:00		
21	水	×	11:30	誕生会、10月生まれさんの保護者の方と一緒に祝いましょう。	
22	木	○	2:00		
23	金	○	2:00		
24	土	/	/	第4土曜日	
25	日	/	/		
26	月	○	2:00		
27	火	○	2:00		
28	水	○	2:00		
29	木	○	2:00		
30	金	○	2:00		
31	土	×	11:30	自由登園日	